



# 防災だより

(発行元) 愛南町消防本部防災対策課 Tel.72-0131



## 「自助」「共助」「公助」とは

災害への備えを考えると、「自助・共助・公助」の3つに分けることができます。

- 1 「自助」とは、災害が発生した際に、まず自分自身の身を守ることを言います。この中には家族も含まれます。
- 2 「共助」とは、地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うことを言います。
- 3 「公助」とは、市町村や消防、県や警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助のことを言います。



◎大規模な地震による犠牲者の多くは、地震発生直後の建物倒壊、家具の転倒によるものや、津波によるものです。地震により被害が広範囲に及ぶと、「公助」はすぐに期待できません。そこで必要不可欠となるのは、自ら守る「自助」と、近隣で助け合う「共助」です。

◎災害発生時だけでなく、日頃の対策や、それぞれの役割を考えておくことが必要です。例えば、家具などの転倒防止や、住宅の耐震化、水や食料の備蓄などは「自助」が中心となり、初期の避難所開設・運営等は「共助」が中心となります。また、防災教育・防災訓練は、家庭(自助)・地域(共助)・公的機関(公助)が連携して行うことが必要となるなど、「自助」「共助」「公助」の連携が不可欠です。

一人ひとりが、「自分の身は自分で守る」、  
「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えを持ち  
日頃から災害に備えておくことが重要です。